

# 1年足らずのeラーニング学習で TOEIC® TESTスコア185アップの快挙

株式会社 ニュートン「Newton e-Learning 事例報告」編集グループ

## 謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます

このたびの「東北地方太平洋沖地震」により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

1日も早い被災地の復興をお祈り申し上げます。

株式会社 ニュートン

今回は、Newton e-Learning TOEIC® TEST対策コースを始めて、1年足らずの期間ながら、めざましい成果をあげている大学様の事例報告です。

第10号では、私立神戸女子大学様（兵庫県神戸市）におけるeラーニングへの取組みについてご紹介します。

同大学は、弊社主催eラーニング説明会への参加をきっかけにNewton e-Learningを導入された結果、TOEIC® TESTスコアのアップに顕著な結果を収められました。

## ■ Newton e-Learning TOEIC® TEST対策コースの導入により、クラス平均でもTOEIC® TESTで大幅スコアアップを実現

神戸女子大学の文学部英語英米文学科では、2010年度に弊社TOEIC® TEST対策Aコース（TOEIC® TESTスコア500点以上を目指すコース）及びTOEIC® TEST対策Bコース（TOEIC® TESTスコア750点以上を目指すコース）を導入され、1回生・2回生の学生さんが学習されています。

Newton e-Learningを学習した結果は顕著に現れました。同学科では、年に5回TOEIC® IP TESTを実施して資格英語の強化に努めています。2010年4月からeラーニング学習を開始して1年足らずにもかかわらず、1回生でスコア185アップという驚くべき成果をあげた学生さんがいらっしゃいました。

さらに、1回生のクラス22名の学生さんについて、2010年7月と12月（一部は2011年1月）のTOEIC® IP TESTのスコアを比較すると、わずか5～7か月の学習で80超をはじめスコアアップを果たした学生さんが続出し、その時実施したアンケートには「教材ソフトの学習は時間がかかり、なおかつ、たやすくはないが何とかこなすことができた」とのお声を寄せていただきました。

## ■ 世界に開かれた国際都市神戸に立地し、特長あるカリキュラム

神戸女子大学は、1940年に設置された神戸新装女学院を母体として、1966年（昭和41年）に発足した女子大学です。須磨キャンパスに文学部及び家政学部、ポートアイランドキャンパスに健康福祉学部を擁し、

- ①自立心 (Independence)
- ②対話力 (Communicative Ability)
- ③創造性 (Creativity)

の3つを大学の教育目標にかかげられ、学問的に高い識見を身に付け、心ゆたかで、人類社会の発展に貢献する女性を育成されています。

須磨キャンパスの文学部英語英米文学科は、「Listening、Speaking、Reading、Writingを徹底的に身につける」「英語圏の言語文化に関する幅広い教養と専門的知識の習得」「英語を生かした職業、資格の取得に結びつく訓練、知識の強化」という学科独自の教育目標のもと、以下の特長あるカリキュラムにより学生さんの英語力強化を図られています。

- ・希望者全員に開かれたハワイ大学留学
- ・シェイクスピア英語劇鑑賞会を毎春開催
- ・英語教員の育成（平成22年度より小学校英語指導者資格プログラムを開設）



神戸女子大学様

## ■ eラーニング先駆者 神戸女子大学における導入の経緯

神戸女子大学におけるeラーニングの歴史は約8年前に遡ります。LL教室をCALL教室に改装されたのをきっかけに、教材を複数の候補から選定・導入されました。しかし、全学的な取り組みに至ることなく、数年の間、試行錯誤が続いていました。

また英語英米文学科では、長年資格英語に関心を持ち受験対策を講じてきました。



CALL教室の学生様

英検は約30年前、TOEIC® IP TESTは約15年前、TOEFL® ITP TESTは10年ほど前にそれぞれ授業に取り入れ、その結果を資格英語の成績に反映させてきました。

近年では、ハワイ大学留学プログラムの導入により、いっそう英語力を向上する必要に迫られました。リスニング力をはじめ、総合的な英語力をつけることが不可欠となり、そのために「24時間、アクセスさえすれば、そこに教材があるという状況」を構想されていました。

## ■ 弊社主催 eラーニング説明会に参加され導入を決意

英語英米文学科が大学のタスク・フォース及び自己点検・評価を論議しており、目標を定めた効果的な英語教育に関心が集まっていた2010年3月、大阪で開催された弊社主催eラーニン

グ説明会に、資格英語ご担当の湯谷和女教授・八日市屋多栄子教授・奥村栄子准教授が参加されました。

「NewtonのTOEIC® TEST受験対策には長い歴史があり高く評価されてきたので、説明会に参加すれば何か良い情報が得られる」と思われたそうです。

説明会では、日米両特許を取得しているTLTソフトの特長、導入校の実績等に関心をもたれ、さらにTOEIC® TEST対策コースを実際にユーザー（学生さん）の立場で体験学習され、効果に確かな手応えを感じ、Newton e-Learningの導入を決められました。

導入の決め手になったのは、主に以下の点でした。

- ・問題量が圧倒的に多い
- ・TOEIC® TEST に準拠した内容である
- ・Webテスト(TOEIC® TEST半分量の模擬テスト)で実力を試すことができる
- ・Webテストはプレースメントテストとしても利用できる
- ・管理システムが行き届いていて学習効果が把握しやすい

導入された後、改めて弊社教材の良さを実感されたそうです。湯谷先生からは、「すでに他社の教材を利用していたので両者を比較することができました。その良さとは、一見面倒ではあるが、100%できなければ先に進めないというシステムです。この方法だと覚えるまで逃れることができないので、その徹底したやり方が気に入りました。語学力をアップさせるには不可欠なことだと思います」との評価をいただきました。

## ■ 資格英語ご担当先生の視点から

9割以上の学生は一生懸命コンピュータに向かっています。高校ではeラーニングの経験はなく、コンピュータによる学習に戸惑いがあったことも事実ですが、このクラスを楽しんでいるようでもあるので、違った形態の授業が1科目あるのもよかったと、ご担当の先生方はお考えです。

さらに、「導入1年目にしては、教員、学生の双方がよく取り組みました。怠けがちな学生もいましたが、学習の趣旨を理解し努力する姿勢が見られました。ニュートンはデータ管理が使いやすかったです。またプログラムの開発に熱心であること、導入後も担当代理店が何度も大学に足を運び現状を把握される点がとても誠実で信頼できると感じました。平成22年度以降の入学生は、1～3回生ままでTOEFL/TOEICトレーニングが必修科目になるので、今後もNewtonの教材を使用しながら学生の英語能力がどのように伸びていくか追跡していきたいと思います」と期待を込めた感想をお聞かせいただきました。

導入1年目にして早くも効果が現れはじめた神戸女子大学の今後の推移に、弊社も注目していきたいと思います。